

## イ 省エネルギー設備等

居住世帯のある住宅数を省エネルギー設備等別にみると、「太陽熱を利用した温水機器等あり」は48,500戸、「太陽光を利用した発電機器あり」は92,400戸、「二重サッシ又は複層ガラスの窓あり」は1,433,900戸となっている。

平成25年と比較すると、「太陽熱を利用した温水機器等あり」は3,200戸（6.2％）減少、「太陽光を利用した発電機器あり」は19,700戸（27.1％）増加、「二重サッシ又は複層ガラスの窓あり」は283,400戸（24.6％）増加となっている。全国と比較すると、東京都はいずれの省エネルギー設備等も普及率が低い状況となっている。（表8、図8）

表8 省エネルギー設備等別居住世帯のある住宅数

地域	年次	(単位：戸、%)						
		居住世帯のある住宅総数 A	太陽熱を利用した温水機器等あり B	普及率 B/A	太陽光を利用した発電機器あり C	普及率 C/A	二重サッシ又は複層ガラスの窓あり D	普及率 D/A
東京都	平成20年	5,939,900	51,500	0.9	22,000	0.4	820,200	13.8
	25年	6,472,600	51,700	0.8	72,700	1.1	1,150,500	17.8
	30年	6,805,500	48,500	0.7	92,400	1.4	1,433,900	21.1
	平成25年～30年 増減数	332,900	△ 3,200	－	19,700	－	283,400	－
	平成25年～30年 増減率	5.1	△ 6.2	－	27.1	－	24.6	－
全国	平成30年	53,616,300	1,865,400	3.5	2,189,600	4.1	15,531,700	29.0

図8 省エネルギー設備等別普及率

